

ひだまり

HIDAMARI

夏号
2023
vol.208

直腸がんに対する ロボット支援下手術を開始

外科ロボット支援下手術スタッフ

目次

02-03 特集

「外科で直腸がんに対するロボット支援下手術を開始」

04 Hospital Now!!

「眼科診療の一新紀元」

05 看護師は見た！「周術期って何？」

レシピ de 元気！「夏野菜の肉味噌添え」

06 外来診療日一覧表（7月3日現在）

07 病院からのお知らせ

「新しい外来のご紹介」
スポーツ整形外科外来、網膜・緑内障専門外来

08 ひだまり NEWS

より良い医療の提供を行うとともに、市民の健康増進に貢献することで、市民の信頼に応えます



特集

Topix

「外科で直腸がんに対するロボット支援下手術を開始」

外科・副病院長 風間 伸介

はじめに

焼津市立総合病院外科では、直腸がんに対するロボット支援下手術を行う基準を満たしたため、2023年6月より保険適用下でのロボット支援下手術を開始いたしました。

当院では、2019年より泌尿器科が、2022年より婦人科がロボット支援下手術を開始しており、外科は当院で3番目の科となります。

開腹手術から体にやさしい低侵襲手術へ

大腸がんに対する手術は、ここ20年余りの間に劇的に変化を遂げています。以前はがんを切除するために、おなかに10-15cmの傷をつけて行う、開腹手術が行われていました(図1)。しかし、最近ではおなかに小さな穴を数カ所あけて(図2)、映像のモニターを見ながら手術を行う腹腔鏡下手術が多く行われるようになってきました。

小さい傷で行う手術を「低侵襲手術」と言いますが、開腹手術に比べて手術時間がやや長くなるものの出血量も少なく、大きい傷に比べて体への負担が少なく、回復の早いことが特徴で、早期の社会復帰が期待できます。

図1 開腹手術

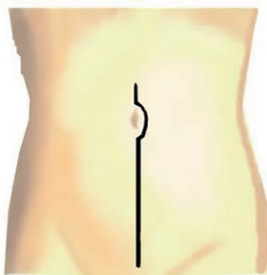
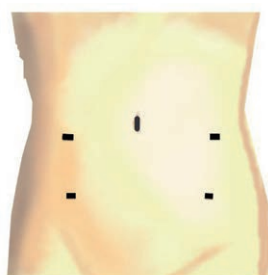


図2 腹腔鏡下手術



腹腔鏡手術からロボット支援下手術へ

さらに近年では、腹腔鏡下手術で行われていた手術が、ロボット支援下手術で行われることが多くなってきました。

ロボット支援下手術とは、ロボットを使って行う低侵襲手術であると言えます。実際に当院では、米国インテュイティブサージカル社が開発したダヴィンチ手術システムの第4世代にあたる、最新鋭のダヴィンチ Xi を用いて手術を行っています。



手術支援ロボット ダヴィンチ Xi

ロボット支援下手術は腹腔鏡下手術と比較して、多彩な機能により、繊細で正確な手術が可能となることから、本邦でも2009年11月に厚生労働省で薬事承認されました。さらに「直腸悪性腫瘍」に対するロボット手術は2018年4月に保険適用され、次いで2022年4月に「結腸悪性腫瘍」に対するロボット手術も保険適用されました。

このダヴィンチ手術システムの手術は従来の手術とは異なる技術が必要となるため、医療機器メーカー提供のトレーニングプログラムを受け、認定を取得した医師達を中心とした医療チームで手術を担当しています。

ダヴィンチ手術システムの持つ多彩な機能

ダヴィンチ手術システムでは、ビデオ機器、ゲーム機器、携帯電話などの電子機器に搭載されているような機能のうち、手術をより安全で行いやすくする機能が多数搭載されています。

以下に主な機能を紹介します。

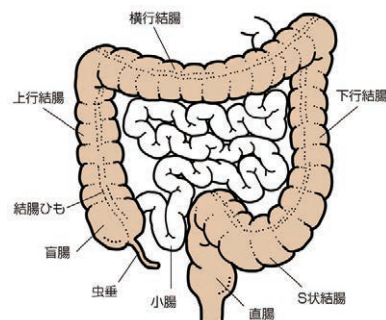
- ① 高画像 3D システム：従来の腹腔鏡下手術で使用される内視鏡カメラでは 2 次元であった画像が、高画質な 3 次元画像となっています。
- ② 多関節機能付きインストゥルメント：人間の手には、手首、肘、肩の三つの関節があり、思い通りに動かすことができますが、ダヴィンチ手術システムで手の代わりにする鉗子にも多数の関節が備わっており、手と同等以上の可動域を有しています。
- ③ 手振れ防止機能：システムを動かす医師の手先の振動が鉗子に伝わらないような機能が備わっています。
- ④ スケーリング機能：医師が手元で 3cm 動かしても、実際には鉗子が 1cm しか動かない、3 対 1 のスケーリング機能が備わっています。実際に動かした手の幅よりわずかの幅しか動かないため、より細かい操作が可能となります。

直腸がん手術をロボット支援下手術で行う利点

直腸がんは骨盤の中にある直腸にできるがんです。骨盤という骨で囲まれた空間の中に直腸はありますが、骨盤の中には直腸だけではなく、膀胱、前立腺、子宮、卵巣などの臓器や、尿管、様々な血管、神経が、比較的狭い空間内に配置されています。その中で直腸がんの手術を行うにあたり、繊細で正確な技術が必要となりますが、それによってつけなのが、ダヴィンチ手術システムということになります。

もちろん全ての症例が、ロボット支援下手術に適しているわけではありません。焼津市立総合病院外科では、現在のがんの進行具合、これまでの持病や手術歴などから、従来の開腹手術、腹腔鏡下手術、ロボット支援下手術、いずれの方法が適しているかを総合的に

判断して、患者様とご家族に治療方法をお話ししていきます。



最後に

今回直腸がんに対する、ロボット支援下手術を中心に説明させていただきましたが、焼津市立総合病院外科では、結腸がんに対するロボット支援下手術の準備も進めており、近日中に開始する予定です。

さらに、2023 年 4 月より外科で大腸肛門の専門外来も開設いたしました。こちらもよろしくお願いたします。

また今回お話ができませんでしたが、大腸がんに関する一般的なお話を、インターネット上で公開しています。

(<https://medicalnote.jp/contents/191220-001-JO>)

私の前任地の内容も含まれてはいますが、お役に立てると思いますので、ご興味のある方はご覧になってください。

▶ 大腸・肛門外科外来

(外来日) 毎週木曜日 8:30～13:00

(担当医師) 風間 伸介

大腸がんなどの大腸・肛門疾患の手術適応患者様むけの外来です。

受診の際は、外科外来まで電話にてご予約ください。 電話 054-623-3111(代表)



「眼科診療の一新紀元」

眼科 網膜・緑内障専門外来担当医師 松岡 貴大

新たに『網膜・緑内障専門外来』担当医として勤務しております松岡貴大と申します。

当院眼科は、浜松医科大学関連施設であり、大学病院と連携し、高度眼科医療の提供を行ってまいりましたが、令和5年度より、今まで築き上げてきたものを基盤としながら、更なる飛躍を目指し、『網膜・緑内障専門外来』を開設いたしました。一新紀元を迎えるべく、外来・手術診療を拡張し、多くの患者様のお力になれるよう、スタッフ全員と力を合わせ、診療を行っています。今回は、新たな取り組み、そして今後の展望について、ご紹介させていただきます。

外来診療：網膜・緑内障専門外来

医療技術革新と共に白内障で失明をきたす患者様は大幅に減少し、それは現在の人生100年時代を迎えた日本で生活をする人たちの生活の質を支えることに寄与していると感じます。それに対して、緑内障による視野障害は、現在も完治する方法はなく、早期発見、現在の視機能を守ることが肝要となります。また、生活習慣病による網膜症も同様であり、見えにくさを自覚する前の、前兆を把握し、それに対する治療導入が鍵となります。当院では、新たに網膜緑内障専門外来を設置し、早期病変の把握、治療することで、患者様の長期に及ぶ視機能の保持、保守に努めております。

手術診療：新たに3システムを導入

① 難症例白内障手術の拡充：高リスク症例、高度進行症例、外傷既往症例の治療も

今まで行ってきた白内障手術治療に加え、上記患者様治療にも対応できる準備を致しました。具体的には、白内障手術中における器械の拡充（最新機器の導入、手術設定値の各患者様への適正化）を行い、また外傷の既往のある患者様や、先天的にまたは経年変化による眼内組織の脆弱化に対応できるようデバイスの充填を行いました。また、治療にあたるスタッフへの勉強会を行い知識のブラッシュアップもしています。

② 緑内障治療の導入：失明原因第一位疾患の対応可能に

40歳を過ぎると20人に1人、80歳を過ぎると10人に1人以上は緑内障とされています。患者様ごとに緑内障の種類や必要な手術方法（術式）が異なることから、相談を重ねることが好ましいと感じます。

一人一人に適正な治療を行うべく、治療法も拡充しました。これにより、早期緑内障患者様から高度進行緑内障患者様まで対応できるようになりました。また、白内障をお持ちの患者様には、これら白内障手術と同

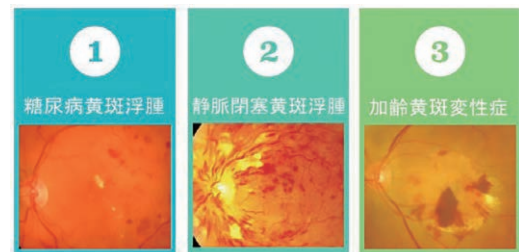
時に行うことで、患者様にとっても複数回にわたる手術を1度に行うことができ、負担軽減に繋げることができます。

＜当院での緑内障治療の種類＞

・流出路再建術 眼内法、濾過手術、緑内障治療用インプラント挿入術、眼内ドレーン挿入術

③ 硝子体注射の導入：黄斑変性症、静脈閉塞症、糖尿病網膜症患者の治療病院へ

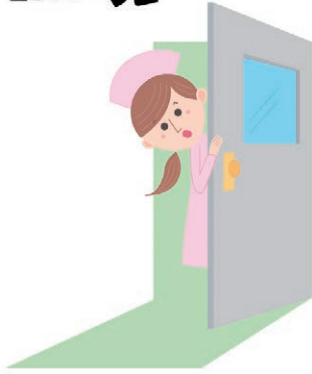
黄斑は視細胞集合体であり、とても大切な場所です。糖尿病、高血圧、コレステロール、飲酒や喫煙といった日常生活の影響を受け、徐々に黄斑血管は障害されます。わずかな黄斑の変化でも、文字の歪み、視界のかすみを生じ、日常生活が非常に不安定になってしまいます。これらの状態を早く見つけて、早期に治療を行うことで、これから先の見え方を維持することは可能な場合も多いです。当院は、抗VEGF抗体硝子体腔内注射を導入し、上記患者様の治療病院として新たな一歩を進みました。注射は硝子体腔に入れますが、眼内は無菌であるため、感染予防が重要であり、当院は手術室で行い、高水準の清潔環境を保った状態で治療を受けることが可能です。



今後も最良の医療が提供できるよう、各手術において患者様の状態に合わせた入院治療・日帰り治療の選択や、治療難易度の高い網膜硝子体手術治療のために、手術環境配備や病棟入院設備の拡充を図っております。

当科では更なる躍進を目指し、今後も精進していきます。

看護師は見たっ!!



周術期って何？

みなさん「周術期」という言葉を聞いたことがありますか？ 手術の違う言い方なのかな？ と思う方もいらっしゃるかと思います。

字の如く周術期とは手術の周囲、つまり前後のことを表しています。手術が決定して外来から入院、麻酔、手術、術後回復、退院、社会復帰まで、術中だけでなく手術前後を含めた一連の期間の事です。

この期間には、担当医師をはじめ看護師・麻酔科医師・歯科医師・理学療法士・薬剤師・栄養士などさまざまな職種が関わります。多職種が連携して周術期管理に取り組むことで、患者様への安全で安楽な手術へと繋がり、手術準備から手術中のケア、そして手術後の病棟ケアへと、より質の高い医療や看護ケアの提供ができると考えられています。特に、手術前から関わらせていただくことでよりよい診療の提供が受けられ、患者様も安心して入院に向けた準備ができ、患者様の満足度へと繋がります。

患者様の高齢化も進み、私が外科病棟にいた20年前には手術を受けることができなかったような患者様が、毎日のように手術を

中央手術室副看護師長 萩山裕美子

受けられています。合併症などのリスクが高くなる中でも、安心して術前、手術、術後を迎えられるように多職種で連携し周術期の患者様、ご家族を支えていけるよう努めていきます。患者様も周術期チームの一員として、手術前から体調を整えるご協力をよろしくお願い致します。

手術を受けられる患者様へ、手術室看護師が術前に病室に伺うことがあります。その際には、手術が安全に受けられるようアレルギーの確認や日頃の体調、手術中も安楽に過ごせるように関節の動きなどを確認させていただくこともあります。全身麻酔では寝ている間に手術が行なわれることとなりますが、手術室看護師は患者様の代弁者となれるよう、安全に配慮し手術後も穏やかに過ごせるようケアをさせていただいています。

入院期間のなかではとても短い時間ですが、周術期チームの一員として（手術室では、帽子にマスク姿でなんとなく怖い印象を与えてしまうかも？ ですが）少しでも不安が和らぐよう温かい気持ちをもって関わらせていただきます。



患者さま・ご家族もチームの一員です



レシピ de 元気!

「暑い日におすすめ！
～夏野菜の肉味噌添え～」



(栄養価 1人分)
熱量 69kcal、蛋白質 3.3g、脂質 3.5g、塩分 0.6g

問合先 栄養科 054-623-3111 (代)

材料 4人分	ナス	小2個	キュウリ	60g	
	サラダ油	小さじ2	鶏胸ひき肉	40g	
	冬瓜	160g	A (味噌	小さじ2
	薄口醤油	小さじ1		砂糖	小さじ2
	だし汁	カップ1/4		みりん	小さじ1



- 1 ナスはへたを落とし半分に切り、皮に格子に切り込みを入れる。フライパンにサラダ油をひき、ナスを焼く。(揚げてもよい)
- 2 冬瓜は皮を剥き、4つに切り分け、鍋にだし汁と薄口醤油を入れ、落とし蓋をしてやわらかくなるまで煮る。
- 3 キュウリはみじん切りにし、塩をふり、水気をしぼる。
- 4 ひき肉は炒めてそぼろにし、火が通ったらAの調味料を加えて煮る。その後、冷ます。冷めたら③と合わせる。
- 5 冷やした①と②を盛り合わせ、④の肉味噌を添える。

★ナスは皮を下にして油を入れ、取り出してからはナス同士が重ならないように置くと、色よく仕上がります。(写真は彩りのためにニンジンを加えています)

外来診療日一覧表

2023年7月3日現在

診療科	午前				
	月	火	水	木	金
総合診療内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
腎臓内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
呼吸器内科 (紹介状必要・予約制)	○	○			○
血液内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
消化器内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
循環器内科 (院内他科依頼)		○	○	○	○
代謝内分泌内科 (紹介状必要・予約制)	○		○	○	○
脳神経内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○		○
精神科 (新患受入休止)	○	○	○	○	○
小児科	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○
整形外科 (予約推奨)	○	○	○	○	○
形成外科 (紹介状必要・予約制)	○		○		○
脳神経外科	○	○	○	○	○
皮膚科	○	○	○	○	○
泌尿器科	○	○	○		○
透 析	○	○	○	○	○
産婦人科 (予約制)	○	○	○	○	○
眼 科	○	○		○	○
耳鼻咽喉科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
放射線科 (予約制)			○		○
歯科口腔外科	○		○		○

- ◆受付時間
 - ・午前 8時00分～11時00分 (再来受診)8時00分～11時30分
 - ・午後 12時30分～15時00分
- ◆予約受付
 - 054-623-3111(代表) ※受診科をお知らせください。
 - ※午後の診察はすべて予約制です。ご注意ください。
- ◆外来担当医表
 - 外来担当医表については、毎月1日付でホームページを更新していますのでご覧ください。また、病院受付窓口でも毎月1日から配布しています。
 - なお、都合により担当医や担当日が変更になることがあります。
- ◆各種相談(予約制)
 - ・緩和ケア・がんよろず相談 月～金曜日(休診日を除く)9時00分～16時00分
予約受付 054-623-3111(代表) 内線: 3031 地域医療連携室がんよろず相談担当
 - ・退院後の療養、介護に関する相談 月～金曜日(休診日を除く)9時00分～16時00分
予約受付 054-623-3111(代表) 内線: 2090 患者支援室医療相談担当

○…診療日 検…検査

診療科	午後(予約制)				
	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (紹介状必要)	○	○			○
血液内科 (紹介状必要)		○		○	○
消化器内科 (紹介状必要)		○	○	○	○
循環器内科 (院内他科依頼)	○	○	○	○	○
代謝内分泌内科 (紹介状必要)	○	○		○	
脳神経内科 (紹介状必要)	○		○	○	○
精神科 (新患受入休止)	○	○		○	○
小児科	○	○	○	○	○
形成外科 (紹介状必要)	○				
皮膚科	○	○	○	○	○
透 析	○	○	○	○	○
耳鼻咽喉科 (紹介状必要)	○		○	○	
放射線科	○				
歯科口腔外科	○		○		○

特殊外来 完全予約制 △午前 □午後 一部毎週開催していない外来もあります。詳しくはお問い合わせください。

特殊外来(完全予約制)		月	火	水	木	金
腎臓内科	膠原病・リウマチ (紹介状必要)				□	
	多発性のう胞腎 (紹介状必要)				□	
	糖尿病性腎症 バス(紹介状必要)	△□		△□		
代謝内分泌内科	フットケア外来 (再診予約制)		△			□
脳神経内科	認知症外来 (紹介状必要)				△	
小児科	心臓				□	
	エコー					□
	神経					□
	すこやか			□		
	療育支援			□		
	川崎病				□	
	乳児検診	4ヶ月児 10ヶ月児		1ヶ月児		
シナジス	□					
外 科	スキンケア				□	
	乳 腺	△□				△□
	血管外科					第1・2・4 △
	呼吸器外科			△□		
	心臓外科					第2・4 □
大腸・肛門				△□		
整形外科	スポーツ整形	□				
形成外科	レーザー	□		□		
脳神経外科	脳卒中		□			
産婦人科	不妊治療	△	△	△	△	△
	助産師	△□	△□	△□	△□	△□
	妊婦外来	□		□	□	
眼 科	網膜・緑内障		△			

◆他院に通院中の方
紹介状不要の診療科であっても、すでに他院に通院中の方は紹介状が必要な場合があります。詳しくは問い合わせてください。



～新しい外来のご紹介～

「スポーツ整形外科外来」開設のお知らせ

整形外科長兼スポーツ整形外科長 朔 伊作

スポーツ整形外科とは、スポーツ外傷・障害を扱う診療科です。競技スポーツのみでなく、学校体育やレクリエーションスポーツ、中高年の方の運動・体力作りまで、幅広い層を対象とします。診察や画像検査により正確な診断をし、早期に治療を開始し早期復帰を目指します。近年は画像検査としてはMRIや超音波画像装置が普及し、診断精度が向上しています。外傷・障害によっては手術を必要とする場合もありますが、手術においては関節鏡という内視鏡を用いたダメージの少ない治療法が普及、発展してきたことで、早期復帰が可能となっています。トレーニング理論を取り入れたりハビリテーションを行うことも重要で、復帰後の再発を防ぐことにもつながります。



競技種目、年代、性別により特有の外傷・障害があり、その診断や治療には一般の整形外科とは別の専門性が求められます。スポーツ外傷・障害でお困りの方は、まずはお近くの診療所やクリニックを受診してください。専門的な診断や治療が必要と判断され、当院を受診される場合は、当院への紹介状をご持参ください。

■スポーツ整形外科外来
毎週月曜日
14:00～17:00
詳しくは、整形外科まで
お問い合わせください。

「網膜・緑内障専門外来」開設のお知らせ

眼科 網膜・緑内障専門外来担当医師 松岡 貴大

このたび、白内障、緑内障、硝子体の手術を専門とした「網膜・緑内障専門外来」を開設しました。

高血圧・糖尿病・高脂血症などの身体の病気より、徐々に網膜に影響を与え、文字がゆがんで見えたり、視界のかすみを生じて日常生活が不安定になることがあります。また、緊急を要する網膜剥離や重篤な視力障害を起こしうる黄斑変性症など、失明に至る病気も複数あります。

これらの病気を早期に見つけ、早期治療により、これから先の目の見え方の改善や維持することが重要です。当外来では、黄斑浮腫治療に「抗VEGF抗体硝子体腔内注射」を導入し、また、白内障や緑内障への手術に最新機器の導入や治療法の拡充をし、一人一人に適正な治療が行えるよう、白内障手術については日帰り手術の実施を行っています。

高血圧・糖尿病・高脂血症などの治療中で、このような症状が気になる方は、お気軽にご相談ください。



■網膜・緑内障専門外来
毎週火曜日
8:30～12:00
(受付は11:00まで)
詳しくは、眼科まで
お問い合わせください。

参加者募集

高校生オープンホスピタル開催のお知らせ

高校生のための医療職場体験！

- 開催日時 令和5年8月4日(金) 8:30 ~ 12:00 (終了予定)
- 会場 焼津市立総合病院 (焼津市道原 1000 番地)
- 応募職種 10 職種 (各職種最大5名) ※医師のみ 10 名
医師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、臨床工学技士、歯科衛生士
- 内容 病院スタッフによるプレゼンテーション、職場見学、職場体験、座談会など
- 募集期間 令和5年6月26日(月) から 7月14日(金) まで
※先着順のため、応募者多数の職種は募集期間中でも締め切る場合があります。
- 申込方法 WEB フォームにて下記の項目を入力してください。
①住所、②氏名、③連絡先、④高校名、⑤学年、⑥希望職種、
⑦白衣のサイズ (S・M・L)
※右の QR コードよりお申し込みください。



【申込・問合せ先】

焼津市立総合病院 病院総務課人事医局担当 TEL . 054 - 623 - 3111 (代表)

参加者募集

病院ボランティアに参加しませんか？

新型コロナウイルス感染防止のため、全ての病院ボランティア活動を休止していましたが、来院者よりご要望が多い玄関ボランティア活動（歩行困難者の介助等）を再開いたしました。

しかし、ボランティア要員の減少に伴い、活動できる日が限られており、ボランティアが不在の日もあるため、当院では、玄関の介助ボランティアに参加をしていただける方を募集しています。

下記の業務で、病院に力を貸していただける方は是非ご連絡ください。

◇活動内容のご紹介

- ・車椅子の必要な患者さんが来たら、介助し受付や外来に誘導する。
- ・車椅子の整理整頓。
- ・お困りの人がいたら案内をする。
- ・その他

◇活動場所

玄関・エントランスホール・外来（1・2階）等で活動

◇活動時間

開院日(月～金)の 8:30 ~ 11:30 2週間に1回以上(基本的には隔週で同じ曜日)

◇連絡先

焼津市立総合病院 地域医療連携室 TEL . 054 - 623 - 3111 (代表)

活動再開！

